

麻酔科臨床研修プログラム（1年次選択必修）

I. 一般目標

1. 基本的救急処置・心肺蘇生法の修得と、手術麻酔症例及び集中治療症例を通じて全身管理の基本を理解する。
2. 麻酔科医に求められる基本的診察に必要な知識・技能・態度を身に付ける。
3. 手術・麻酔を受ける患者の全身状態、合併症を把握し、適切な術前評価、麻酔計画を立てられる能力を身に付ける。
4. 一般的な外科系手術術式を理解し、患者の受ける侵襲が最小になるような麻酔計画を立てられる能力を身に付ける。
5. 患者および家族に予想される合併症、対策、麻酔計画を適切に説明できる能力を習得する。
6. 適切な術前指示、麻酔経過記録を作成する能力を身に付ける。
7. 基礎的な全身麻酔・硬膜外麻酔・脊椎麻酔の理解と、その手技及び管理を習得し実践できる能力を身に付ける。

II. 研修施設と研修指導責任者・指導医

- 1) 研修施設 医療法人社団誠馨会 新東京病院
- 2) 研修指導責任者・指導医 小西 晃生（コニシ アキオ）

III. 行動目標および評価項目

評価記載 A：到達目標に達した
B：目標に近い
C：目標に遠い

1. 基本的診察法を実施できる。	自己評価	指導医評価
1) 正確な病歴、麻酔歴の聴取、評価	A B C	A B C
2) 全身の身体所見の評価	A B C	A B C
3) 麻酔を行なう上での問題点、手術の適応等の評価	A B C	A B C

指導医サイン _____

2. 基本的診療法

- 1) 基本的検査
 - a) 必要な検査の選択・実施
- | | | |
|--|-------|-------|
| | A B C | A B C |
|--|-------|-------|

2) 基本的治療法

a) 外科系各科の基本的術式に基づいた麻酔計画・

麻酔法の選択ができる。

A B C A B C

b) 適切な術前指示、麻酔前投薬指示、常用薬につ いての指示ができる。

A B C A B C

c) 基本的な麻酔方法を理解し修得する。

・全身麻酔

A B C A B C

・脊椎麻酔

A B C A B C

・硬膜外麻酔

A B C A B C

・気管内挿管

A B C A B C

d) 術後回診・術中管理が適切であったか評価できる。

A B C A B C

e) 術中合併症への対処ができる。

A B C A B C

f) 基本的手技が実施できる。

・注射法（皮内、皮下、筋肉、静脈、中心静脈）

A B C A B C

・採血法（静脈血、動脈血）

A B C A B C

・気管内挿管（麻酔下挿管、意識下挿管、ファイバー挿管、
フルストマック症例での挿管）

A B C A B C

・LMAの挿入

A B C A B C

・くも膜下穿刺

A B C A B C

・硬膜外穿刺

A B C A B C

・導尿法

A B C A B C

・ドレーンチューブの管理

A B C A B C

・胃管の挿入

A B C A B C

・滅菌消毒法

A B C A B C

g) モニターの装着、操作、評価ができる。

・心電図

A B C A B C

・パルスオキシメーター

A B C A B C

・カプノグラム

A B C A B C

・麻酔ガスモニター

A B C A B C

・血圧測定、観血的動脈圧

A B C A B C

・中心静脈圧

A B C A B C

・肺動脈圧、肺動脈楔入圧、心拍出量

A B C A B C

・筋弛緩モニター

A B C A B C

・体温

A B C A B C

h) 人工呼吸を実施できる。

・用手的人工呼吸（バックマスク、気管内挿管）

A B C A B C

・機械的人工呼吸（IPPV、CPPV、PEEP、CPAP、
SIMV、PSV、PCV）

A B C A B C

・人工呼吸器からの離脱

A B C A B C

i) 心肺蘇生法を実施できる。

・気道確保

A B C

A B C

・閉胸心マッサージ

A B C

A B C

・人工呼吸

A B C

A B C

・電氣的除細動

A B C

A B C

3) チーム医療を実施できる。

常に外科系医師、手術部看護師、クリニカルエンジニア

などのチームの一員として行動し、責任を持つことが

ができる。

A B C

A B C

指導医サイン

3. 患者・家族との良好な関係を構築する。

1) 患者及び家族に麻酔計画、合併症、予想される危険性、対策などを説明できる。

A B C

A B C

2) 十分なインフォームドコンセントに基づき、良好な患者－麻酔科医の関係を保つことができる。

A B C

A B C

指導医サイン

4. 医療関連文書

1) 医療評価のできる適切な麻酔記録を作成できる。

A B C

A B C

2) 術前チェックリストに正確な記載ができる。

A B C

A B C

3) 麻薬処方箋を適切に処方できる。

A B C

A B C

4) 術後患者診察記録を適切に記載できる。

A B C

A B C

指導医サイン
